

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	エブリー		
○保護者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2026年1月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31	(回答者数) 23
○従業者評価実施期間	2025年12月17日		～ 2026年1月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16	(回答者数) 12
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・学習室、相談室など必要に応じて別の部屋を有効に活用している点	・体を動かす遊びをする児童は、発達支援室へ誘導する。工作など、止まって作業する児童は、面接室や個別指導室へ誘導するなどの工夫をしている。	・時間で区切るなどして、運動だけ、工作だけといったような、活動内容の偏りが減るように働きかける。
2	・プログラムに5領域がバランスよく組まれている	・常勤で話し合い、月ごとでプログラム内容に変化が出るように工夫している。	・意見箱を設置し、話し合いに参加できない職員の希望を取り込めるようにする。 また、職員だけでなく、児童にもプログラムの要望を書いて投函するよう促す。
3	・どういった支援がいいか意見を言える雰囲気が出ている。	・打ち合わせ時、個々の職員が支援に対する考えや希望を発言できるようなシステムにしている。	・打ち合わせ時など、支援の結果を共有する機会を設け、継続的・効果的な支援が出来るよう取り組んでいく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・送迎戻り時間がバラバラな為、全員揃っていない状態で共有が始まることもある。	・送迎の戻りに時間に差が出てしまう。 ・誰に共有したか可視化できていない。	・当日出勤している職員全員が参加できる時間設定で終礼を行う。 ・終礼に参加できない職員は、日報を確認し、確認印を押すよう促す。
2	・常勤ではないためか訓練に参加する機会が少ない。曜日等を考慮し、訓練の実施が必要。	・出勤日数に差がある。	・常勤・非常勤に対して研修・訓練の日程を予告し、参加を促す。
3	・利用者の人数が多く感じる時がある	・自由時間中、一つの部屋に児童が集まることもある。	・お絵描きしている児童と、ボール遊びしている児童が混在している等の状況を避けることが出来るよう、児童に対して声掛けを行い、各部屋への分散を促す。